赤ちゃんのお耳のはなし

２　両耳難聴のお子さんの支援のために



新潟県福祉保健部障害福祉課

【令和８年４月】

新潟県

目　次

⑴ 耳の仕組みと難聴　１

⑵ 音の大きさと難聴の程度　２

⑶ 定期受診は大切です　３

⑷ 聴力検査について

ー赤ちゃんのときの検査ー　４

ー幼児期の検査ー　５

⑸ 聞こえにくいってどんなこと？　６

⑹ 補聴器について　７

⑺ 補聴器Q＆A　８

⑻ どんなふうに接したらいいの？　９

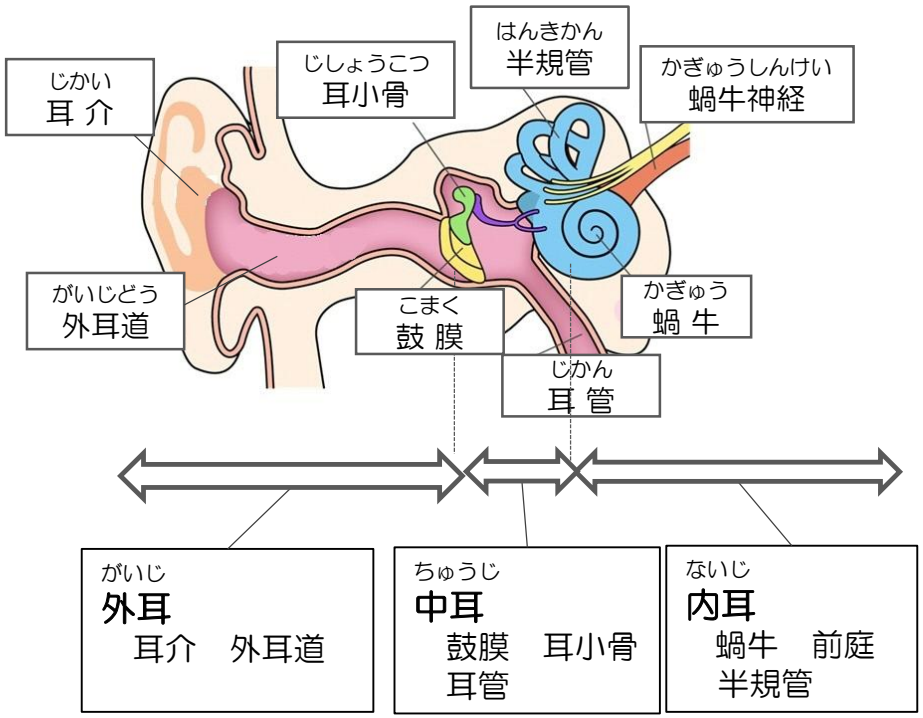
⑼ 赤ちゃんのきこえを見守りましょう　10

⑽ 相談しましょう！　ーきこえの相談窓口ー　11



(1) 耳の仕組みと難聴

耳の中はこうなっています



どこでトラブルが起きたかによって、３つの種類に分けます。

伝音難聴

外耳や中耳に原因があります。

感音難聴

蝸牛から脳までの間に原因があります。

混合性難聴

伝音難聴と感音難聴、両方の原因をあわせもつ難聴です。

- 音は空気の振動です。
- 音は外耳道を通り鼓膜と耳小骨を振動させ、蝸牛に入ります。
- 蝸牛で振動は電気信号に変わり、蝸牛神経を通って脳に届きます。
- 脳に信号が届くと、私たちは「聞こえた」と感じます。
- 脳はいろいろな音や言葉を聞いて、それを覚えていきます。

音が脳に届くまでの間にトラブルがあると、
難聴（聞こえにくい状態）になります。

(2) 音の大きさと難聴の程度

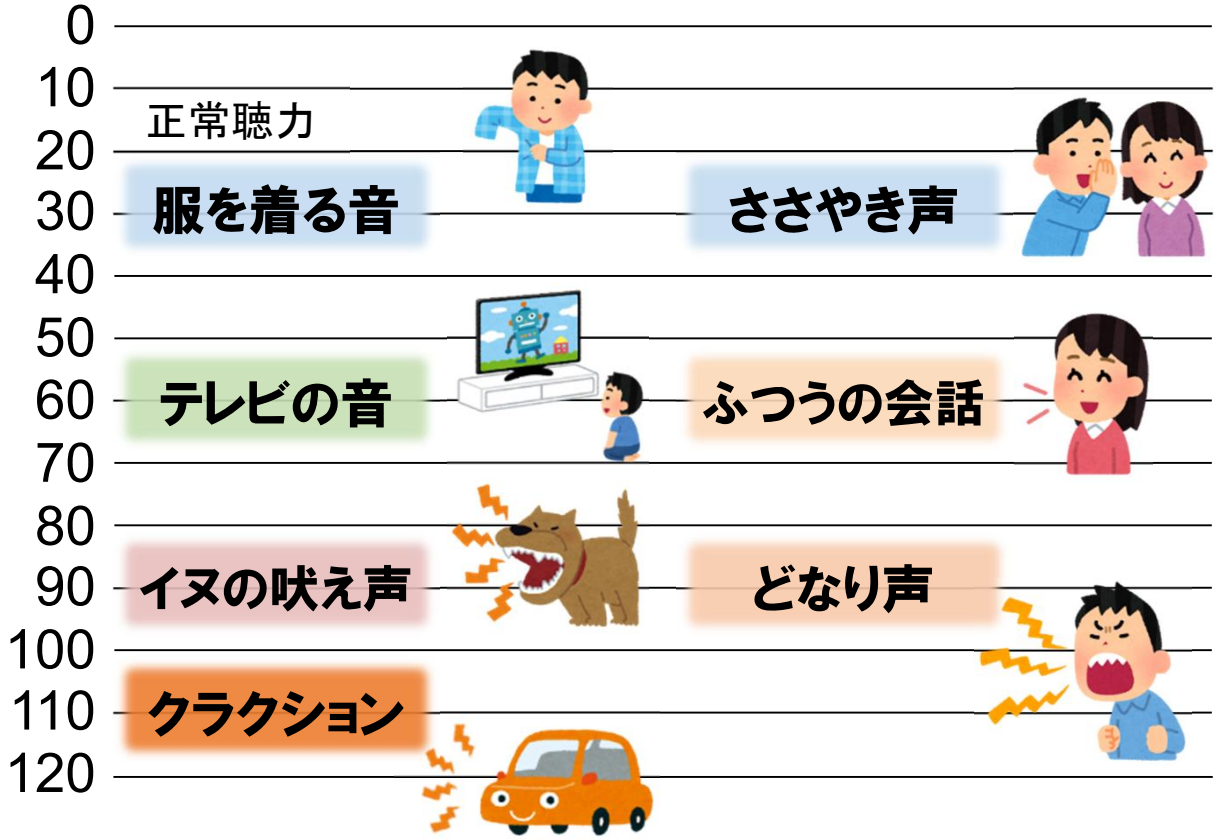
聴　力

どれくらい小さい音が聞き取れるかを調べ、その音の大きさをその人の聴力とします。

数字が大きくなるほど、難聴の程度が重くなります。

dB（デシベル）

音の大きさや聴力は デシベル（dB）という単位で表します。



難聴の程度

参考：　日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
「新生児聴覚スクリーニングマニュアル」

0dB以上 25dB未満	健聴
25dB以上 40dB未満	軽度難聴
40dB以上 70dB未満	中等度難聴
70dB以上 90dB未満	高度難聴
90dB以上	重度難聴

同じ聴力でもきこえ方には個人差があります。

⑶ 定期受診は大切です

耳鼻科で、「定期的に聴力検査に来てくださいね」と言われたと思います。

「どうしてそんなに頻繁に検査が必要なのだろうか？」と思うかもしれません。

赤ちゃんの聴力検査はとても難しく、月齢や年齢、発育の様子や発達段階によってさまざまな検査が行われます。（P４～５「⑷聴力検査について」参照）

また、赤ちゃんの場合、そのときの体調や機嫌の良し悪しによってうまく検査ができないこともあるからです。

だから、お子さんのきこえの状態を正しく把握するために、定期的に聴力検査を受けることが必要です。

全体の発達の様子を見たり、
お耳の状態を診察したり、
聴力低下がないかを確認したり
するためでもあります。



耳鼻科で行った聴力検査結果は、もらって帰ることができます。ファイルに綴じて保管、整理しておきましょう。

落ち着いて振り返ってみると、耳鼻科の医師の説明が分からなかったことに気付くことがあるかもしれません。そんなときは、メモをしておくと、次の診察日に質問をすることもできます。

お子さんの日々のきこえや声の様子を見て、少しでも不安があったら、耳鼻科や支援機関（新潟よつば学園・長岡聾学校等）に相談しましょう。

また、家の近くにかかりつけの耳鼻科を見つけて、中耳炎や耳あか、風邪などの日常的な疾患を診てもらえるようにすると良いですね。



(4) 聴力検査について
ー赤ちゃんのときの検査ー

精密検査では、いくつかの詳しい聴力検査をしたり、
ご家庭でのお子さんの音への反応を聞き取ったりして、
医師が総合的に診断します。

通常は、診断が確定するまでに<u>何回か通院が必要</u>になります。

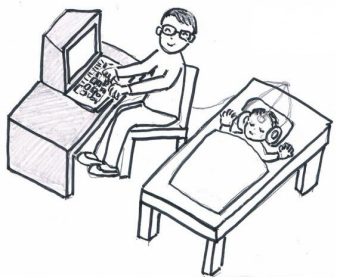
1）赤ちゃんにイヤホンなどで音を聞かせ、脳波を測る検査（ABR・ASSR）

赤ちゃんが眠った状態で行うことが多いです。
左右別々に聞こえているかどうか測ることができます。

ABR 聴性脳幹反応	イヤホンなどから音を出し、眠っている赤ちゃんの脳波を調べる検査です。聞こえているかどうかを調べることができます。
ASSR 聴性定常反応	ABR と同じように脳波を調べる検査ですが、低音から高音まで、音の高さ別に調べることができます。

ＡＢＲ

ＡＳＳＲ



2）赤ちゃんに楽器や、スピーカーからの音を聞かせ反応を見る検査　（ BOA・COR ）

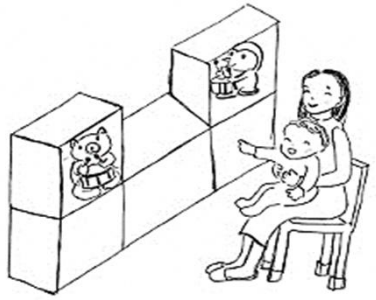
赤ちゃんが目覚めている状態で検査をします。
左右別々に測ることはできません。

BOA 聴性行動反応 聴力検査	赤ちゃんの見えないところで楽器やおもちゃなどの音を出し、びっくりしたり振り向いたりする音への反応で、きこえの様子を調べます。
COR 条件詮索反応 聴力検査	生後6か月くらいになってから行う検査です。音を出すと同時におもちゃに光を当て、音が聞こえたらおもちゃが見えると覚えてもらいます。その後、音だけに対する反応を見ることで聴力を測定する検査です。

ＢＯＡ



ＣＯＲ



(4) 聴力検査について
ー幼児期の検査ー

お子さんが検査音を聞いたときに自分で「聞こえた！」と意思表示ができるようになると、より正確な聴力を測ることができるようになります。

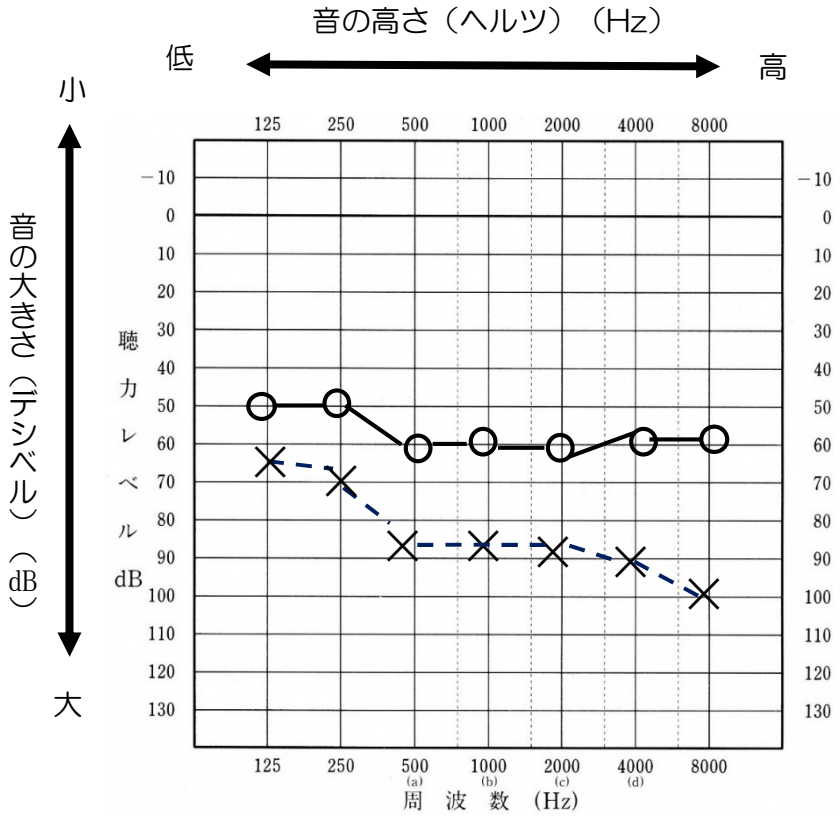


遊戯聴力検査	基本的には大人と同じ聴力検査です。スピーカーの音を聞く方法とヘッドホンから音を聞く方法があります。大人と違うのは、ボタンを押すとおもちゃが動くとか、ボタンを押す代わりに聞こえたらボールをかごに入れるなど遊びの要素を取り入れることで、子どもが飽きずに検査を続けられるように工夫されていることです。

お子さんの集中力や体調などにより、反応が変わることもありますので、継続的に繰り返し検査を行い、より正確な値が取れるようにします。

聴力検査の結果の見方（オージオグラム）

聴力検査の結果は、どの高さの音がどれくらいの大きさで聞こえたかを下のようなオージオグラムで表します。



- 横軸は音の高さ、縦軸は音の大きさを表しています。
- ○×などの印をグラフに記して聴力を表します。
  （右耳は○、左耳は×）
- 印の付いているところが聞こえ始めの音の大きさです。

⑸聞こえにくいってどんなこと？

赤ちゃんは身の回りの音や声を聞いて、音の意味を知ったり言葉を覚えたりします。

生まれつき、あるいは言葉を覚える前に難聴になると、そのままでは周りの人の言葉を聞いて覚えることが難しくなります。

難聴といっても、その聞こえ方は一人一人違います。一般的に難聴があると、大きな音や声は聞こえても、小さな音や離れたところからの声は聞こえにくくなります。

そのため、呼びかけても気付かなかったり、見えないところでの音には気付かなかったりします。

また、聞こえていたとしても、小さく聞こえていたりゆがんで聞こえていたりする場合もあります。



薬や手術で治すことのできない難聴でも、補聴器や人工内耳を使うことで、音や言葉を聞き取る力をつけることは可能です。



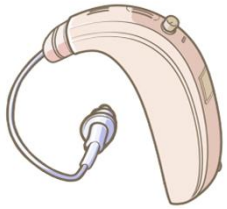
聞こえ方は十分でなくても、周囲の大人が楽しそうに語りかけたり歌を歌ってあげたりすることは、人や音、言葉への興味につながり、聞く力を育てることになります。



⑹ 補聴器について

補聴器は、周りにあふれている様々な音を大きくし、聞こえやすくする医療機器です。
赤ちゃんから大きなお子さんまで、ある程度以上の難聴と診断されたら、補聴器をつけることが多いです。
主治医の話を聞いて、補聴器の装用を進めるようにします。

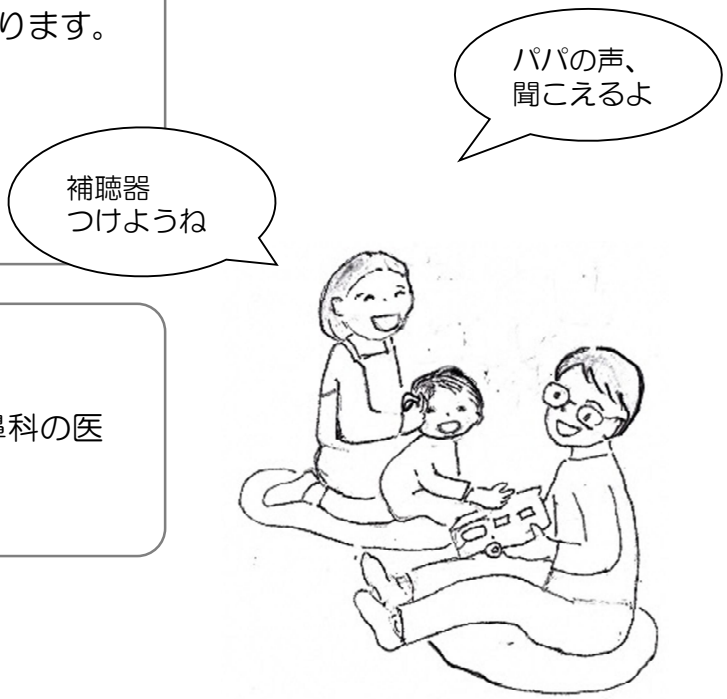
赤ちゃんの場合は、一般的には首がすわってから６か月くらいまでの間に補聴器をつけ始めます。



例：耳掛け型の補聴器
左耳用

補聴器をつけると

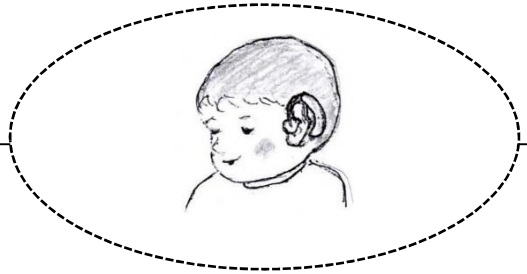
- 補聴器をつけていなかったときには聞こえにくかった小さな音が聞こえやすくなります。
- 言葉や音を聞き取りやすくなったり、聞き分けやすくなったりします。
- 周りで起きていることが分かりやすくなります。
- 気持ちが安定しやすくなります。



補聴器を使用しても、十分聞こえない場合は、人工内耳を検討します。

人工内耳は、耳の後ろ側に装置を埋め込む手術が必要になります。詳しくは、耳鼻科の医師にお聞きください。

(7) 補聴器　Q&A



Q：赤ちゃんにつける補聴器はありますか？

A：赤ちゃんの小さなお耳にもフィットする補聴器があります。
耳掛け型の補聴器です。病院の医師の指示により、支援機関（新潟よつば学園・長岡聾学校等）も試聴の相談にのってくれます。購入は試聴が終わってからです。

Q：補聴器をつければ言葉や声、音などがよく聞こえるようになりますか？

A：補聴器をつけることによって、周囲の音や声が大きくなって耳に届くのですが、それだけで何でも聞こえるようになるわけではありません。補聴器をつけて生活する時間を徐々に延ばし、いろいろな音や言葉を聞いたり、音源を見て何の音かを知ったりすることで、聞く力が育ちます。

Q：補聴器をつけていても保育園や幼稚園に入園できますか？

A：補聴器をつけていても入園できます。ただ、入園の際には園の先生方に、お子さんの難聴のことや補聴器の効果や取り扱いについて理解していただく必要があります。支援機関（新潟よつば学園・長岡聾学校等）の先生が園の先生方と連絡をとってくれますので、よく相談してください。

(8) どんなふうに接したらいいの？

赤ちゃん一人一人は個人差も大きく、成長のスピードも様々です。標準的な発達の目安はありますが、それにとらわれ過ぎないようにしましょう。

聞こえているお子さんでも難聴のお子さんでも、愛情をもって話しかけてあげるのが大事であることは同じです。



目を見てしっかりと話しかけてあげましょう

〇〇ちゃん、〇〇ちゃん、かわいいなー



すりすり

おむつ替えてさっぱりしたねよかったね



あ～ん あ～ん

どうしたの？ママはここよだいじょうぶだいじょうぶ



ゆーら、ゆーら

キャッキャッ

あっはっはーおもしろかったねーもう1回やろうかゆーら、ゆーら楽しいねー

ごっくんごっくん



ウマウマそう、おいしいのよかったね上手に飲むねーいっぱい飲んで大きくなって

クスンだってくしゃみもかわいいなあ

あーあー

あーあー



あーあー

クスンッ

あーあー

〇〇ちゃんおりこうさんね

(9) 赤ちゃんのきこえを見守りましょう

きこえの反応は全体的な発達の中で見ていく必要があります。

以下にきこえの発達について記載しましたが、発達には個人差がありますので、あくまでも参考としてお読みください。

このとおりでないこともたくさんあります。大事なことは、たっぷりと愛情を注ぎ、たくさん話しかけたり、いろいろな音を聞かせてあげたりすることです。

きこえの発達

参考：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
「新生児聴覚スクリーニングマニュアル」

0～1か月

- 突然の音にビクッとしたりまぶたをギュッと閉じたりする。
- 大きな音にビクッと手足を伸ばしたり、泣き出したりする。
- 泣いているとき、または動いているときに声をかけると、泣き止むかまたは動作を止める。





2～3か月



- 眠っていて急に鋭い音がするとピクッと手足を動かしたりまばたきをしたりする。
- 話しかけると「アー」とか「ウー」とか声を出して喜ぶ（またはニコニコする）。
- 怒った声や優しい声、歌、音楽などに不安そうな表情をしたり、喜んだり、または嫌がったりする。

4～5か月

- 日常のいろいろな音に関心を示す（振り向く）。
- 名を呼ぶとゆっくりとではあるが顔を向ける。
- 人の声（特に聞きなれた母親の声）に振り向く。
- 不意の音や聞きなれない音、珍しい音にはっきりと顔を向ける。
- 両親などよく知っている人の声を聞き分ける。

6～7か月

- テレビやラジオの音がし始めると、すぐにそちらを向く。
- 話しかけたり歌を歌ってやったりすると、じっと顔を見ている。
- 「ダメッ！」などの強い声や、近くで鳴る突然の音に驚く（または泣き出す）。

8～9か月

- 機嫌良く声を出しているときにまねてやると、またそれをまねて声を出す。
- 身振りなしに「オイデ」「バイバイ」などの言葉を理解して行動する。
- 名前を呼ぶと振り向く。
- 音楽を聞かせたり歌を歌ってやったりすると、手足を動かして喜ぶ。

10～12か月

- 「ママ」「マンマ」「ネンネ」などの言葉をまねて言う。
- 「……チョウダイ」と言うと、そのものを手渡す（または手渡そうとするが手渡さない）。
- 「……どこ？」と聞くとそちらを見る。
- 簡単な言葉による言い付けや要求に応じて行動する。

(10) 相談しましょう！－きこえの相談窓口－

子どものきこえ相談室

「子どものきこえ相談室」は県内４か所にあり、0歳からの難聴のお子さんとそのご家族の相談に応じています。
お近くの相談室にご相談ください。

- きこえにかかわる様々な疑問にお答えし、子育ての相談も行います。
- 医療機関と連携し、必要に応じて定期的、継続的に聴力測定を行います。
- 「子どものきこえ相談室」のスタッフは難聴のあるお子さんの教育を専門に行っている新潟よつば学園と長岡聾学校の教員です。



新潟県難聴児支援コーディネーター

- 「どこに相談したらよいか分からない」という方も相談してください。
- 詳しくは、リーフレットをご覧ください。

名　称	相談会場・申込窓口	
新潟子どものきこえ相談室（月～金）	**新潟県立新潟よつば学園** 新潟市東区竹尾２丁目２番１号 電話　025-250-0374 e-mail：mimisien@niigatayotsuba-gk.nein.ed.jp	
長岡子どものきこえ相談室（月～金）	**新潟県立長岡聾学校** 長岡市水道町2-1-13 電話　0258-38-0191 e-mail：shien@nagaokarou.nein.ed.jp	
魚沼地域子どものきこえ相談室（月1回）	会場	**新潟県立長岡聾学校小出分教室** （新潟県立小出特別支援学内） 魚沼市十日町1738－２ 電話　025-792-5462
	申込窓口	魚沼市子育て世代包括支援センター 電話　025-792-9204（直通） 南魚沼市保健課 電話　025-773-6811（直通） 十日町市健康づくり推進課 電話　025-757-9759（直通） 湯沢町健康増進課 電話　025-784-3149（直通） 津南町福祉保健課　健康班 電話　025-765-3114（直通）
上越地域子どものきこえ相談室（月1回）	会場	**上越教育大学** 上越市山屋敷町1番地 電話　025－521-3672
	申込窓口	上越市健康づくり推進課　健診・相談係 電話　025-520-5843（直通） 妙高市健康保険課内こんにちはすくすく窓口 電話　0255-74-0065（直通） 糸魚川市こども課　親子健康係 電話　025-552-1511（代表）

～いずれも相談は無料です。個人情報は守られます。安心してご相談ください。～